

2024年10月17日

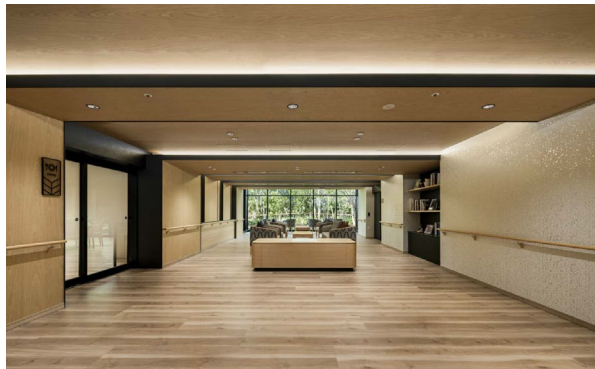
JR西日本プロパティーズ株式会社

グランフォレスト田園調布 が 「2024年度グッドデザイン賞」を受賞

JR西日本プロパティーズ株式会社（本社：東京都港区芝五丁目34番6号新田町ビル、代表取締役 森 克明）が開発保有している「グランフォレスト田園調布」（介護付き有料老人ホーム）が、このたび2024年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を運営会社であるスマリソフィア株式会社と共同受賞しました。

本件は「景観との共生」、「生物多様性に配慮」を意識し、豊かな自然とふれ合い癒され、それを介して入居者同士、職員とのコミュニケーションが活性化されることで、心身共に健康で生き生きとした暮らしを提供したことが、高く評価されました。また、老人ホームでは初となるABINC認証を取得しています。

当社では引き続き自然環境に配慮した開発に取り組むとともに、ものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進します。また、「安全・安心・豊かな暮らし」を実現し、お客様の人生に寄り添い、快適でより良い品質・サービスを提供し、ブランドイメージの向上に務めてまいります。



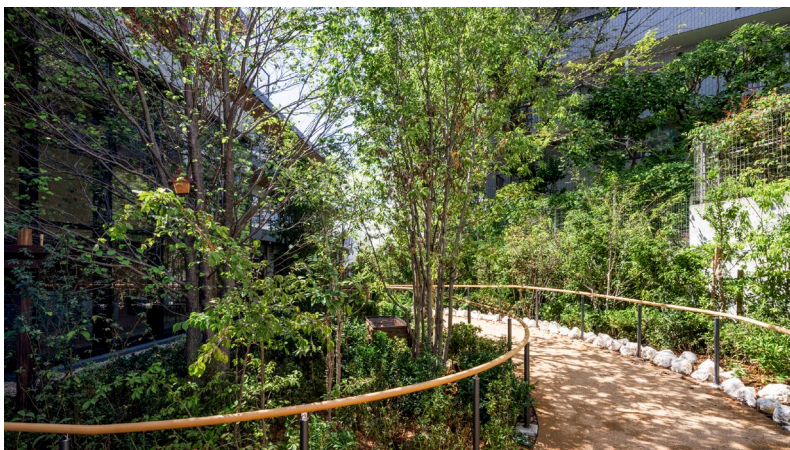
□ 景観との共生

外観は建物とランドスケープが一体となり、国分寺崖線・多摩川・多摩川台公園といったこの地域の雄大な自然を表現し、塀などの遮蔽物を少なくし、街に開かれたデザインとしました。



□ 生物多様性に配慮

在来種を中心に花実の付く植栽を多く選定し、地域に生息する蝶や鳥と共生できるよう巣箱やバードバスなどを設けることで、四季折々の景色や生き物の姿を感じられるよう計画しました。



□ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

近年、急速に高齢化や世帯の単身化が進む中で、高齢者施設の役割はより一層重要になっている。本有料老人ホームは、施設ではなく住まいとして、豊かな自然に触れられる暮らしを追求しており、その理念は非常に共感できる。植物や野鳥、昆虫などの生き物に触れることで、入居者同士や職員との交流が生まれ、生き生きと日々を過ごすことができるだろう。2層吹き抜けのラウンジや奥行き深いバルコニーなど、室内からも自然が感じられるように工夫されている点も高く評価したい。

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<https://www.g-mark.org/>



【問い合わせ先】

J R西日本プロパティーズ株式会社 不動産企画部 TEL (03) 6271-9602